

教材例集について(案)

※「1.」及び「3.2」のみ抜粋

1. はじめに
 - 1.1 地域における日本語教育で大切なこと……………2ページ
 - 1.2 教材例集の趣旨・期待される活用方法……………2ページ
 - 1.3 教材例集の構成……………4ページ
2. 教材例 (※以下の数字は「標準的なカリキュラム案」と対応させており、「V 子育て・教育を行う」「VI 働く」は除いてある。)
 - I 健康・安全に暮らす
 - 01 健康を保つ
 - (01) 医療機関で治療を受ける……………6ページ
 - (02) 薬を利用する……………21ページ
 - (03) 健康に気を付ける……………39ページ
 - 02 安全を守る
 - (04) 事故に備え, 対応する……………44ページ
 - (05) 災害に備え, 対応する(地震)……………54ページ
 - (05) 災害に備え, 対応する(火事)……………71ページ
 - II 住居を確保・維持する
 - 04 住環境を整える
 - (07) 住居を管理する……………82ページ
 - III 消費活動を行う
 - 05 物品購入・サービスを利用する
 - (08) 物品購入・サービスを利用する……………91ページ
 - 06 お金を管理する
 - (09) 金融機関を利用する……………105ページ
 - IV 目的地に移動する
 - 07 公共交通機関を利用する
 - (10) 電車, バス, 飛行機, 船等を利用する……………115ページ
 - (11) タクシーを利用する……………132ページ
 - 08 自力で移動する
 - (12) 徒歩で移動する……………144ページ
 - VII 人とかかわる
 - 14 他者との関係を円滑にする
 - (31) 人と付き合う……………155ページ
 - VIII 社会の一員となる
 - 15 地域・社会のルール・マナーを守る
 - (33) 住民としての手続をする……………169ページ
 - (34) 住民としてのマナーを守る……………180ページ
 - 16 地域社会に参加する
 - (35) 地域社会に参加する……………190ページ
 - IX 自身を豊かにする
 - 20 余暇を楽しむ
 - (44) 余暇を楽しむ……………205ページ
 - X 情報を収集・発信する
 - 21 通信する
 - (45) 郵便・宅配便を利用する……………218ページ
 - (46) インターネットを利用する……………229ページ
 - (47) 電話・ファクシミリを利用する……………240ページ
3. 参考資料
 - 3.1 教材例集を作成する際に活用及び参考にした資料・ホームページ等……………252ページ
 - 3.2 生活上の行為の事例と能力記述……………255ページ

1. はじめに

1.1 地域における日本語教育で大切なこと

日本では平成2年に施行された「出入国管理及び難民認定法」の改正以来、地域で暮らす外国人が増加しました。この2年、外国人の数は減少傾向にありますが、それでも依然 200 万人を超えています。特に最近では外国人の定住化傾向が進んでいることから、「生活者としての外国人」の側面に焦点を当てた日本語教育を実施することが求められています。そこで日本語教育小委員会において、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標を以下のように整理しました。

【目的】

言語・文化の相互尊重を前提としながら、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り生活できるようになること

【目標】

- 日本語を使って、健康かつ安全に生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、自立した生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、文化的な生活を送ることができるようにすること

上記の目的、目標を達成するための日本語の教育内容の検討と学習機会提供のための仕組みを整備することが求められています。地域で暮らす外国人は日本語学習に対するレディネス(すでに日本語学習をどの程度行っているか等)、学習適性、学習環境、在留資格、生活課題などの面において多様性があり、多様な日本語学習のニーズが存在します。そのため、日本語教育を実施する際にも、上記の目的・目標を踏まえた上で、学習者の状況やニーズを把握し、それに沿った形で日本語教育を行うこと、さらに地域住民とのつながりや社会参加を目指すようなプログラム設計や体制作りを行い、実施することが大切です。

1.2 教材例集の趣旨・期待される活用方法

1.2.1 教材例集の趣旨について

教材例集は「「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案について」(以下、「カリキュラム案」という。)を基に作成しています。

カリキュラム案とは、各地域で実施する日本語教育の具体的な内容やプログラムを検討・作成する際の基となるものであり、外国人が来日して、生活の基盤を形成する上で必要不可欠であると考えられる生活上の行為の事例、そこで必要となる日本語学習の項目・要素、関連する社会・文化的な情報などから構成されてい

ます。カリキュラム案は、各都道府県、市町村における日本語教育担当者、各地域において日本語教育のコーディネーター的役割を果たす人に活用されることを想定しています。

カリキュラム案を活用するため、「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案 活用のためのガイドブック」(以下、「ガイドブック」という。)を作成し、さらに教室活動を行う際の教材の例を示すために本教材例集を作成しました。

「生活者としての外国人」に対する日本語教育は地域の実情・学習者の状況が様々であるため、的確に状況を把握し、地域・学習者のニーズに合わせた形で実施することが必要となります。その手順については、4ページで示しています(※詳細はガイドブック参照)。

教材を中心に教室活動を考えるのではなく、あくまでも地域の実情・学習者の状況に合わせた日本語教育を行うため、それに合わせて本教材例集に工夫を加え、日本語教育に取り組んでください。この教材例集は「生活者としての外国人」に対する日本語教育について、その在り方を具体的な教材例の形で示したものであり、他の教材の使用を否定するものではありません。地域の実情や学習者の日本語のレベルに合わせて、より有効な教室活動が展開されるよう他の教材や資料などを組み合わせながら教室活動を行うことを期待しています。また、地域や外国人の状況によっては「生活上の行為が日本語でできるようになる」ための活動よりも、「地域交流や居場所作り、人と人とのつながり作り」を進めることが必要な場合もあります。地域や外国人の状況、必要とされる日本語教育の形に合わせて、教材例集を活用し、地域住民とのつながりや外国人の社会参加に役立ててください。

また、この教材例集は、日本語の文法や知識に関する学習を中心に据えたものではなく、生活上の行為ができるようになることを目的として作成しています。そのため、「初級、中級、上級」といった日本語のレベルに着目し、文法や日本語の構造に関する知識を積み上げていく形を取っていません。何らかの助けがあれば、日本語を使って生活上の行為は行えるということ、レベルに応じてできる形で生活上の行為ができるようになればよいということを前提としているためです。また、現実的に、日本語が上手になるまでの間も地域で生活をする存在であるという「生活者としての外国人」を考えているからです。来日後、間もない時期から、日本語が上手であるかどうかにかかわらず、地域社会の中で生活するということを考え、生活上の行為ができるようになること及び自分の基本的な情報を伝え、基本的な人間関係を築く基礎を作れるようになることを目指しています。

1.2.2 期待される活用方法について

個々の「教材例」は、そのままの状態ですべての地域ですべての学習者を対象に効果的に活用できるものではありません。地域の実情、学習者の日本語のレベルに合わせて教材例の内容に手を加えたり、多言語情報を活用したり母語話者を活用し

たりする等、工夫を行うことが必要となります。

学習者のニーズや地域ならではの情報を調べ、それに対応させた内容に加工していくことが重要です。また、教材例集の(01)から順番に使う必要もありません。学習者の状況、ニーズ等を見ながら、必要な部分を選択して使用することが大切です。

また、その際、ガイドブックにあるように、「地域・学習者に応じた教育内容の選択と工夫」、「専門家・地域住民との協働」、「行動・体験中心の活動」、「対話による相互理解の促進」を意識したプログラムを作成し、それに合わせた教材を作成してください。

また、この教材例集では「指導者」、「協力者」という言葉を次のように使っています。

指導者…日本語教室で学習者に日本語を教える、あるいは教室活動を中心的に行う人のこと。

協力者…地域住民や学習者の母語が分かる人や外国人のことを指し、教室活動に協力してくれる人のこと。

指導者だけでなく、多様な人が教室活動に参加し、教室活動を通じて人間関係を広げていくことが学習者の地域社会への参加の助けとなると同時に、地域住民が外国人の置かれている状況や外国人とのコミュニケーションについて学ぶよい機会となります。協力者として教室活動に参加してくれる人は地域により異なりますが、適宜、地域の状況に合わせて日本語教育プログラムを企画してください。なお、本教材例集は文化庁ホームページからダウンロードすることが可能です。

1.3 教材例集の構成

1.3.1 教材例集の内容

教材例集はカリキュラム案(12～13 ページ)から、分野が偏らないように生活上の行為の事例を選択し、作成した教材の例をまとめたものです。教材例集で取り上げていることを学べば、生活上の基盤が形成されるというわけではありません。また、全ての「生活者としての外国人」に必要なものではないということで「V 子育て・教育を行う」と「VI 働く」を除いていますが、各地域においては適宜必要に応じて教室活動に盛り込んでください。また、ここで取り上げていない生活上の行為の事例を含め、この教材例集を参考に各地域で教材作成が行われることを期待しています。

1.3.2 各シート内容及び使い方について

各教材例は内容や目標・ねらいを示した〇〇シートのほか、「写真・イラストシート」「活動シート」「ことば・表現シート」「別表、参考資料等」「指導ノート」で構成されます。

○写真・イラストシート

写真・イラストシートは、その教材例で取り上げる生活上の行為の事例をイメージできるような写真・イラストを取り上げています。

○活動シート

活動シートは、その教材例で取り上げている生活上の行為の事例ができるようになるための活動例を取り上げています。

○ことば・表現シート

ことば・表現シートは、その教材例で取り上げている生活上の行為の事例に関連することば・表現を取り上げています。全てを覚えなないといけないわけではありません。学習者の状況や地域の状況に応じて必要なものを必要なときに取り上げて使ってください。

○別表，参考資料等

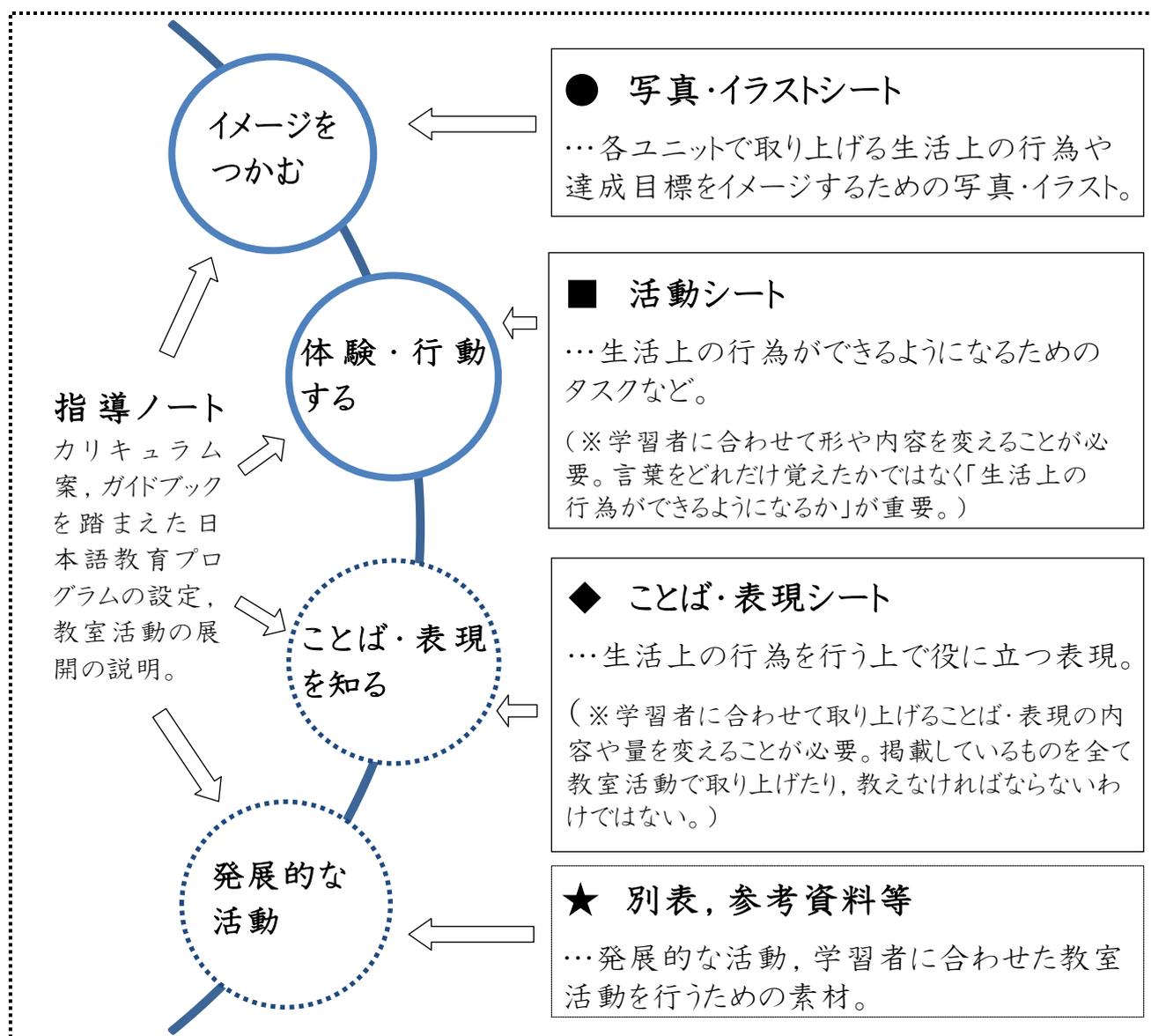
別表，参考資料等は，発展的な活動を行うときに，参考になるシートです。

○指導ノート

指導ノートは，その教材例の活用の仕方，修正の仕方など地域の状況や学習者の状況に合わせた教室活動を行う際のヒントをまとめています。

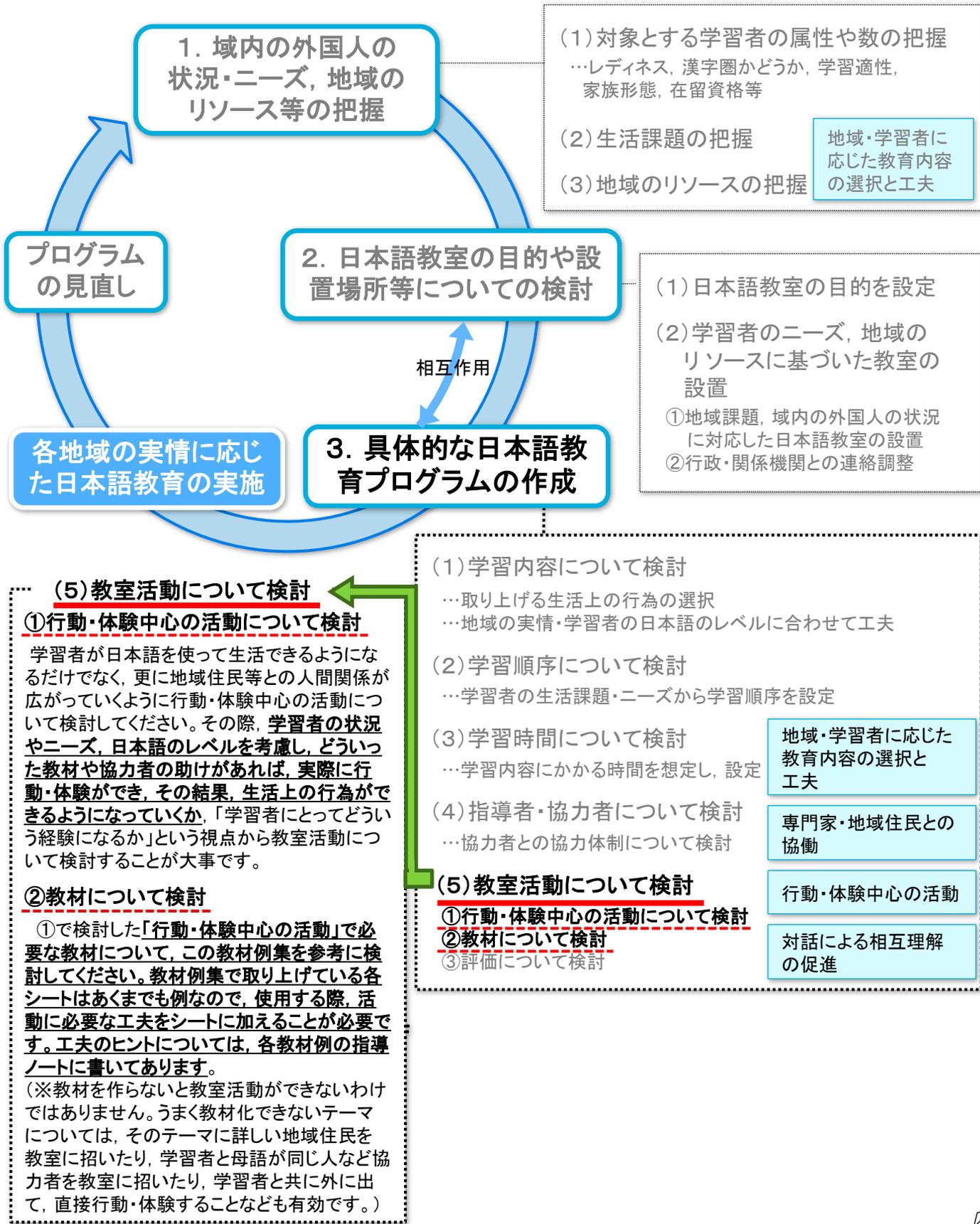
なお，各シートで取り上げる内容と全体の構成は次のページの図のようになります。

各教材例の構成の図



日本語教育プログラムの作成手順の図

(※ガイドブック 7ページより。赤字部分は教材に関する部分。)



3.2 生活上の行為の事例と能力記述

ここではカリキュラム案で取り扱っている生活上の行為の事例と、それに対する能力記述のリストを掲載しています。なお、ここで取り上げている能力記述はカリキュラム案で取り上げたものよりも詳細なものになっています。

「能力記述¹」とは、できるようになることが期待される具体的な行動達成目標のことであり、それぞれの「生活上の行為」に複数の能力記述を記載しています。

学習者にとっては、能力記述の一覧により、自分ができること・できないことを具体的に把握することができ、自分の日本語学習の状況を確認し、具体的に目標を立てる目安として活用することができます。

また、指導者にとっては、「日本語で何ができれば生活上の行為ができるようになるのか」について知ることができ、具体的に教室活動の組立について考えることが可能になります。

ここでは、「生活上の行為を行う上で必要な知識や情報に関する理解」や、うまく日本語を使って生活上の行為を行うことができない場合の「戦略」も能力記述のリストに入れてあります。いずれも実際に日本で生活を行う上では欠かすことができないものです。

これら能力記述のリストを基に、学習者と指導者が能力記述を参考に共に学習の記録を付けることが行動・体験中心の評価につながります²。また、共通のツールを基に指導者・学習者が共に学習の軌跡を振り返り、今後のプランについてコミュニケーションを行うことが、学習者のニーズや状況・地域の状況に合った日本語教育を各地で作り出していく上で大切です。

能力記述のリストの活用

① 学習者にとって

- ・自分ができること・できないことを確認することができる。
- ・自分の現在の状況に合わせて具体的な目標を立てることができる。

② 指導者にとって

- ・日本語で何ができれば生活上の行為ができるようになるのか確認できる。
- ・教室活動の組立について考えることができる。

③ 学習者・指導者にとって

- ・能力記述を活用した記録・評価を参考に、学習の軌跡を振り返ったり、今後のプランについて検討したりすることができる。

⋮

¹ 「能力記述」という用語は「キャンドゥーステートメント(Can-do-statements)」の訳として用いています。

² 能力評価の在り方については、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の能力評価に関する報告書を参照。文化審議会国語分科会において平成24年1月を目途に取りまとめの予定。

3.2 標準的なカリキュラム案で取り上げている生活上の行為の事例と能力記述

小分類		
事例1(上位項目)		能力記述
事例2(下位項目)		
(01) ● 医療機関で治療を受ける		
0101 適切な医療機関の選択をする		
0101060 ★ 隣人に容態を伝えて助言を求める		<ul style="list-style-type: none"> ・体の名称が分かる ・症状の名称が分かる ・隣人に症状を伝えることができる ・内科, 歯科など診療科の名称が分かる ・隣人に適切な診療科, 医療機関の助言を求めることができる ・隣人に適切な医療機関の所在を聞くことができる
0102 問診票に記入する		
0102010 ★ 初診受付で手続をする		<ul style="list-style-type: none"> ・初診であることを伝えることができる ・自身の保険証の内容が理解できる ・保険証についての質問が理解できる ・問診票の記載事項が理解できる ・問診票などに住所, 氏名, 症状などを記入することができる ・受付→待合室→診察室→待合室→会計といった, 受診の行動の流れを理解できる
0103 医者の説明・指示を理解し, 応答する		
0103010 ★ 医者の診察を受ける		<ul style="list-style-type: none"> ・症状を伝えることができる ・症状が始まった時期を伝えることができる ・症状の程度を伝えることができる ・医者の診察, 指示が理解できる ・注射, レントゲンなどの医療機器の名称が分かる
0103120 ★ 病気への対処法・生活上の注		<ul style="list-style-type: none"> ・病気への短期的な対処法を尋ねることができる ・病気への生活上の注意を尋ねることができる ・病気への短期的な対処法を理解できる ・病気への生活上の注意を理解できる
治療を継続する		
	会計を済ませる	・請求の内容が分かる
	次回の予約をする	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の診療曜日, 診療時間が分かる ・次回の予約の方法が分かる
(04) ● 事故に備え, 対応する		
0401 事故を回避する(各種の標識・注意書き等を理解する(高電圧危険, 感電注意, 立入禁止等))		
0401030 ★ 各種の標識・注意書き等を理解		<ul style="list-style-type: none"> ・標識や注意書きを読み取り, 理解ができる ・意味を理解し, それに応じた適切な行動が取れる ・危険であるということをなんとかして周囲の人に伝えることができる ・危険を表す最低限の漢字が理解できる
0402 防犯対策(施錠等)を行う		
0402030 ★ 有効な施錠の仕方について理		<ul style="list-style-type: none"> ・購入した鍵の説明書が理解できる ・友人や知人に, 疑問点を質問したり確認したりできる ・防犯の目的にあった鍵の選択の知識を持っている ・防犯のために鍵を購入するのに適切な店舗を知っている ・通常家を空けるときは施錠することが当たり前になっていることを知っている

		・防犯のためにピッキングなど頻発する犯罪について知っている
0403	防犯に対処する	
0403020	★ 警察(110番)に電話する	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を明確に伝えることができる ・警察官の質問や指示を理解し、適切な受け答えができる ・住所や電話番号などを伝えることができる ・起こったことを順序だてて説明ができる ・警察官の指示に従って当面の対応を行うことができる ・警察が110番だということを知っている ・場所が分かりにくいときにどのようなものを目印にすればよいか知っている ・目印になりやすいものについて分かりやすく説明ができる ・110番の通報には携帯電話を使わない方がよい場合があることを知っている ・携帯電話から110番をする際はGPSを有効にしていたほうがよいことを知っている
0403040	★ 近くの人に知らせる	<ul style="list-style-type: none"> ・隣人や近くの人に、状況説明ができる ・起こったことを順序立てて説明ができる ・詳細な内容でなくても、緊急事態が起きているということをなんとか伝えることができる ・どうしてほしいかを伝えることができる
0404	交通事故に対処する	
0404020	★ 救急車を要請する	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生場所と状況を伝えることができる ・自分の名前と電話番号を伝えることができる ・救急車を呼ぶ方法を知っている ・交通事故の際の基本的な初期対応の知識がある ・救急が119番だということを知っている ・場所が分かりにくいときにどのようなものを目印にすればよいか知っている ・目印になりやすいものについて分かりやすく説明ができる ・119番の通報には携帯電話を使わない方がよい場合があることを知っている ・携帯電話から110番をする際はGPSを有効にしていた方がよいことを知っている
0404070	★ 近くの人に知らせる	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故に遭ったとき、通行人に状況を説明できる ・通行人に支援を要請できる ・詳細な内容でなくても、緊急事態が起きているということをなんとか伝えることができる ・どうしてほしいかを伝えることができる
(05) ● 災害に備え、対応する		
0501	避難場所・方法を確認する	
0501020	★ 自治体広報、掲示、看板等を理解し、現地を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、掲示板等の説明を読んで理解する ・避難場所の位置を地図(略図)で理解する ・分からないことを人に質問して確認できる
0501030	★ 避難場所・方法を理解する・人に聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・避難方法の注意書きを読んで理解できる ・避難方法について人に質問して理解できる
0502	地震発生時に適切に行動する	
0502010	☆ 地震について理解する	

0502020	★ 身を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・身の守り方について説明を読んで理解できる ・身の守り方について人に質問して理解できる
0503 台風発生時に適切に行動する		
0503010	☆ 台風について理解する	
0503020	★ 天気予報・台風情報に留意し	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やラジオ・テレビの気象情報を理解できる ・台風について人に質問して理解できる
0504 火災発生時に適切に行動する		
0504050	★ 消防・救急(119番)や警察(1	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急(119番)に電話を掛けることができる ・火事の発生場所と状況を伝えることができる ・自分の名前と電話番号を伝えることができる
(07) ● 住居を管理する		
0701 電気・ガス・水道等の使用を開始する		
0701010	☆ 開始手続について理解する	
0701090	★ 申込みをする	<ul style="list-style-type: none"> ・電話で必要事項を伝えることができる ・案内書の内容を読んで理解できる
(08) ● 物品購入・サービスを利用する		
0801 対面販売で購入する		
0801020	★ 必要な品物を扱う店等を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・友人や知人に店の場所を聞くことができる ・友人や知人にどんな店か聞くことができる ・新聞の広告を理解することができる ・携帯電話で買い物の情報を検索することができる ・インターネットを利用して買い物の情報を検索することができる ・フリーペーパーなど地域の買い物情報が掲載されている情報ツールについて知っている
0801030	☆ 目的によって店舗の種類を使い分けることを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用して各店舗の特徴を調べることができる ・インターネットで検索できる情報を理解することができる
0801040	★ 販売しているところを探す	<ul style="list-style-type: none"> ・販売しているところを聞くことができる ・店の名前や店の種類が分かる ・インターネットを利用して近隣にある店舗情報を調べることができる ・携帯電話を利用して近隣にある店舗情報を調べることができる ・外国人が買い物しやすい場所を聞くためのネットワークを持っている ・買い物に同行してくれる人がいる
0801050	★ デパート、スーパーマーケット、コ	<ul style="list-style-type: none"> ・買いたい物を買うことができる
0801060	★ 店内の表示を見たり店員に尋ね	<ul style="list-style-type: none"> ・買いたい物がどこにあるか聞くことができる ・商品名を言うことができる ・店内の表示を見てほしいものがどこにあるか理解することができる ・ほしいものが店内の表示に書かれていない場合でも、ほしいものの売り場を推測することができる ・ほしいものがある場所の説明を理解することができる
0801080	★ 売り場を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・売り場がどこにあるか聞くことができる ・売り場の説明を理解することができる ・説明がよく分からないときに聞き返したり確認したりすることができる

0801100 ★ 店員に商品について尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・希望のサイズを伝えることができる ・希望の量を伝えることができる ・希望の大きさを伝えることができる ・希望の形や特徴を伝えることができる ・サイズの基準が母国と違うことを知っている ・自分の希望するサイズの日本での言い方を知っている
0801130 ★ 値段を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の値札を見て、値段を理解することができる ・商品の値札を見て、税込みの値段かどうかを理解することができる
0801140 ★ 商品の機能や値段を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の機能を尋ねることができる ・商品の値段を尋ねることができる
0801150 ★ 商品の表示を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・食品に書かれた材料、産地、賞味期限などを読み取ることができる ・食品の成分表示を見て、食べられないものを確認することができる ・商品パッケージのごみ分別の表示を理解することができる ・商品の内容量・数量などの表示を理解することができる ・商品に貼られている割引表示を理解することができる
0801160 ★ 値段・税率を計算する	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の消費税を確認することができる
0801190 ★ 試着を申し出る	<ul style="list-style-type: none"> ・店員を呼ぶことができる ・試着を申し出ることができる
0801200 ★ 色違いのものを頼む	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな色の商品を選ぶことができる ・自分がほしいものの色を言うことができる
0801210 ★ サイズの変更を申し出る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合うサイズの商品を選ぶことができる ・自分に合うサイズを伝えることができる ・サイズを言う際の単位について知っている
0801220 ★ ポイントカードや割引券を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカードや割引券の利用可否について質問することができる ・必要に応じてポイントカードや割引券を使って買い物ができる ・ポイントカードや割引券の利用ルールについて理解することができる
0801230 ★ クレジットカードを利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードの利用可否について質問することができる ・必要に応じてクレジットカードを使って買い物ができる ・クレジットカードの利用方法についての質問に答えることができる ・暗証番号を入力する機械の使い方を知っている ・支払方法の選択や確認ができる ・明細を見て最低限確認しなければならないポイントが分かる ・クレジットカード以外にデビットカード、銀聯カードなどについて知っている
0801240 ★ 必要なものを選んで購入する	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なものを選んで購入できる ・必要なものを選ぶ際に必要な表示を読んで理解することができる。
0801250 ★ 支払う	<ul style="list-style-type: none"> ・支払いの意思を伝えることができる ・支払いの方法を選ぶことができる ・支払いができる

0801260	★ 返品・交換をする	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて商品の返品・交換をすることができる ・商品の返品や交換に関する基本的な知識を持っている
0801270	★ 注文する	<ul style="list-style-type: none"> ・購入したいものを注文することができる ・取り寄せに関する質問に答えることができる ・インターネットを使って注文することができる ・電話を使って注文することができる
0802 飲食店を利用する		
0802020	★ 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・店ごとに受けられるサービスと代価を理解した上で、それを利用することができる
0802030	★ 希望の食べ物を扱う店を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・食べたいものを示し、店のありかを質問することができる ・相手の示した店のありかが分かる
0802040	★ 電話で予約する	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の店で予約ができることを知る ・一定の条件を示して予約の可・不可について質問することができる ・予約の可・不可についての情報を理解することができる
0802060	★ 店員と話す	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて店員と話す内容を理解する ・店員との応答ができる
0802080	★ 店で人数や禁煙・喫煙などの	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の内容と店による許諾可能性を理解する ・希望の内容を適切に伝えることができる ・希望の内容に対する店員の説明が理解できる
0802100	★ メニューを読む	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューの種類を理解する ・メニューの情報を理解する (不明な点は店員等に質問できる)
0802120	★ メニューを選んで注文する	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューの種類を理解する ・メニューの情報を理解する (不明な点は店員等に質問できる)
0802140	★ 食券を買う	<ul style="list-style-type: none"> ・食券により購入するシステムを理解する ・必要なものを選んで券売機を利用できる
0802170	★ 追加の注文をする	<ul style="list-style-type: none"> ・注文を伝えることができる
0802190	★ 支払いをする	<ul style="list-style-type: none"> ・支払いの意思を伝えることができる ・支払いの方法を選ぶことができる ・支払いができる
0803 各種サービスを利用する		
0803010	☆ 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する	
0803040	★ 店舗を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない人を呼び止めることができる ・情報提示を求めることができる ・提供された情報が理解できる
0803080	★ 利用方法を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる ・提供された情報を理解できる

0803100 ★ コンビニエンスストアのサービス (ATM, ファックス, 公共料金の支払い等)を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる ・提供された情報を理解できる ・機器の表示(文字・記号)が理解できる ・表示された指示に従って操作・対応できる ・納付書等の記載事項が理解できる ・納付書等に的確に記入することができる
0803110 ★ クリーニング店, レンタルビデオ店, 美容院, 理容店を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・来店の目的や希望を申し出ることができる ・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる ・提供された情報を理解できる ・申込書に必要事項を記入することができる ・支払いができる ・店員と適切なあいさつを交わすことができる
0804 商品情報(素材, 注意書き等)について理解する	
0804020 ★ 商品に添えられた情報を的確に理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し, たどり着くことができる ・提供された商品情報(文字情報)を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる
0804040 ★ 新聞広告・折り込み広告を理解	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し, たどり着くことができる ・提供された商品情報(文字情報)を読み取ることができる
0805 購入額を確認・計算する	
0805040 ★ レシートを確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し, たどり着くことができる ・提供された情報(文字情報)を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる
0805050 ★ レシートを理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し, たどり着くことができる ・提示された文字情報を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる
0805080 ★ 代金を支払う	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された代金や支払い方法の情報が理解できる ・必要な問い返しができる ・支払い方法などの希望を伝えることができる ・示された支払い方法が理解できる
0806 カード等を利用する	
0806030 ★ カードの利用の可・不可を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・カード利用の可・不可について質問することができる ・カード利用の可・不可についての情報を理解することができる
(09) ● 金融機関を利用する	
0901 口座を開設する	
0901050 ★ 申込みをする	<ul style="list-style-type: none"> ・口座開設の意志を伝えることができる ・係員の説明を聞いて理解することができる ・必要事項を記入することができる ・口座の種類と用途を知っている ・口座開設に必要な書類について知っている

0903 ATMを利用する	
0903040 ★ 預金の引出しをする	<ul style="list-style-type: none"> ・ATMの指示内容(文字情報)を理解できる ・自身が分かる言語に切り替えて使うことができる ・ATMの使い方が分からないときに、係員に聞くことができる
(10) ● 電車、バス、飛行機、船等を利用する	
1001 時刻表を確認する	
1001020 ★ 発車する時刻や掛かる時間を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・親しくない人にものを尋ねる際の適切な切り出しができる ・目的地を伝えることができる ・時刻や掛かる時間を尋ねることができる ・目的地へ行く交通機関の時間や所要時間を聞くことができる ・時間や発車場所を理解することができる ・駅名、行き先などの駅の表示が理解できる ・説明してもらった行き方を繰り返して確認することができる ・よく分からないときに聞き返すことができる ・PCで路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる ・携帯で路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる
1002 路線図を確認する	
1002060 ★ 目的地への行き方を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地への行き方を質問することができる ・目的地への行き方の説明を理解することができる ・駅名、行き先などの駅の表示が理解できる ・インターネットや携帯電話を使ってルート検索ができる ・路線図をもらうことができる ・PCで路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる ・携帯で路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる
1004 運賃を支払う・切符を購入する	
1004060 ★ 券売機を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・券売機の使い方が分かる ・券売機の文字が読める ・券売機の使い方を聞くことができる ・交通機関別の切符の買い方を知っている ・割引切符やお得な運賃のことを知っている ・交通機関の割引等に詳しい人を知っている
(11) ● タクシーを利用する	
1101 タクシーを呼ぶ	
1101060 ★ タクシー乗り場を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・「タクシー」の表示を理解することができる ・タクシー乗り場の場所を聞くことができる ・場所の説明を理解することができる
1101070 ★ 道路でタクシーを止める	<ul style="list-style-type: none"> ・「空車」の表示を理解することができる ・手を挙げてタクシーを止めることができる
1102 行き先を指示する	
1102040 ★ 行き先を告げる	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの運転手に行き先を伝えることができる ・道順を説明することができる ・行き先の目印になるものを伝えることができる ・行き先の目印になりやすい建物や場所を知っている ・曲がる場所や止まる場所を具体的に伝えることができる

1103 運賃を支払う	
1103060 ★ 運賃を聞き取り, 支払う	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーメーターの運賃を理解することができる ・運賃を聞き取ることができる ・現金以外の支払い方法を尋ねることができる ・領収書をもらうことができる ・雑談に応じることができる ・現金以外の支払い方法について知っている ・現金以外の支払いが可能かどうか聞くことができる ・領収証をもらうことができる
(12) ● 徒歩で移動する	
1201 住所・番地を確認する	
1201030 ★ 住所表示, 交差点名, 街の案内地図などを読む	<ul style="list-style-type: none"> ・地名などの漢字の読み方を質問できる ・地名などの漢字を読むことができる ・案内地図によく使われる記号を理解することができる ・地図などのローマ字を読んで場所を理解することができる ・住所表示の基本的なルールを知っている
1202 地図を理解する	
1202030 ★ 地図上で目的地を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・地名などの漢字を読むことができる ・地図によく使用されている記号の意味が分かる ・PCで目的地の地図を探すことができる ・携帯で目的地の地図を探すことができる
1202060 ★ 地図を書いてもらう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の行きたい場所を説明できる ・地図を書いてくれた人の説明が理解できる ・書いてもらった地図について質問や確認ができる
1203 交通標識を理解する	
1203030 ★ 目的地の方向や距離を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・地名などの漢字を読むことができる ・交通標識の意味を理解することができる ・ローマ字で地名を理解することができる
1204 道を聞く	
1204040 ★ 目的地までの道を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・人を呼び止めることができる ・親しくない人にものを尋ねる際の適切な切り出しができる ・目的地を説明することができる ・掛かる時間を尋ねることができる ・説明内容を聞いて理解することができる ・説明してもらった行き方を繰り返して確認することができる ・よく分からないときに聞き返すことができる ・説明内容について確認や質問ができる ・説明内容がよく分からないときに地図を書いてもらうことができる ・目的地の目印となる場所や建物などを知っている
(33) ● 住民としての手続をする	
3301 各種手続(転入・転出・外国人登録等)をする	
3301020 ☆ 各種手続の種類や内容について理解する	
3301080 ★ 役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・「外国人登録」の表示を理解することができる ・外国人登録の窓口の場所を聞くことができる ・場所の説明を理解することができる ・場所の説明について確認や質問をすることができる

3302 各種税金(所得税,住民税等)を支払う	
3302080 ★ 支払方法を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・納付書に書かれた情報を理解することができる ・納付方法を聞くことができる ・納付方法の説明を理解することができる ・支払いをすることができる ・支払えない場合にどうすればよいか聞くことができる
3303 確定申告・還付申告を行う	
3303040 ★ 必要性を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・確定申告や還付申告が何か聞くことができる ・確定申告や還付申告の必要性を確認できる ・パンフレットや説明書を読んで理解できる ・確定申告や還付申告ができる場所を知っている ・確定申告や還付申告が可能な時期を知っている ・確定申告や還付申告の公的な情報をインターネットで集めることができる ・確定申告や還付申告に関連する外国語による情報をインターネットで集めることができる ・確定申告や還付申告に詳しい人を知っている
(34) ● 住民としてのマナーを守る	
3401 ゴミ出し(ゴミの分け方)について理解する	
3401040 ★ 居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・生活情報パンフレット, 広報, 町内の掲示などを読んで, ゴミ出しの仕方を理解することができる ・分からない点について人に確認することができる ・ごみの分別について, 大まかなルールを知っている ・ごみを捨てる時に分別するための商品記載マークを理解できる
3401080 ★ 居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する	<ul style="list-style-type: none"> ・隣人に分からないことを質問することができる ・隣人の説明を聞いて理解することができる ・説明で分からないことについて確認や質問をすることができる
3402 公共マナー(ポイ捨て禁止, 歩きタバコ禁止等)を理解する	
3402030 ★ マナーについて人に相談する	<ul style="list-style-type: none"> ・「ポイ捨て禁止」などの意味を理解できる ・公共マナーの各種について質問して理解できる ・公共マナーの掲示等を読んで理解できる ・日本社会における公共マナーについて基本的な知識を持っている
(35) ● 地域社会に参加する	
3501 自治会行事に参加・協力する	
3501040 ★ 居住地の自治会について隣人に尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会について隣人に聞くことができる ・自治会の活動に関する説明を理解できる ・自治会の役割を理解できる
3501050 ★ 自治会の会員になる	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会参加の意思を伝えることができる ・参加の方法について質問することができる ・申込書などに記入することができる ・会費などの説明を読んで理解することができる ・会員の役割を理解することができる ・会員を辞めるための連絡ができる

3501100	★ 行事に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について情報を得ることができる ・行事についての相談に参加できる ・行事で分担の作業を行うことができる ・行事を通じてほかの会員と交流できる ・自治会の行事について提案することができる ・自治会の行事について積極的に協力を申し出ることができる
(44) ● 余暇を楽しむ		
4401	外出や余暇の計画を立てる	
4401010	☆ 余暇を過ごす場所や利用方法を知る	
4401070	★ 適当な人からアドバイスをもらう	<ul style="list-style-type: none"> ・外出や余暇の計画について人に相談できる ・行きたいこと、したいことの希望を述べられる ・分からない点について質問できる ・パンフレットなどを読んで理解できる ・旅行社の申込書などに記入できる
4402	情報(イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等)を収集する	
4402080	★ 同僚や周囲の人からの口コミ情報	<ul style="list-style-type: none"> ・知人の話から必要な情報を取ることができる ・分からない点について質問できる
4403	地域の公共施設(図書館、スポーツセンター等)を利用する	
4403010	☆ 施設の種類や制度について知	
4403030	★ 利用方法を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の希望を伝えることができる ・説明の内容を理解することができる ・提示された書類等を読んで理解することができる
(45) ● 郵便・宅配便を利用する		
4501	郵便を利用する	
4501020	☆ 郵便局のシステムを理解する	
4501100	★ 手紙や葉書を書いて送る	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の形式を知る ・伝達したいことを書くことができる ・封筒や葉書の宛名の書き方を知る ・ポスト投函口の表示が理解できる
4501120	★ 不在配達通知に対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・不在通知が何であるか理解する ・不在通知にどのように対応するか理解する
4502	宅配便を利用する	
4502060	★ 宅配便を受け取る	<ul style="list-style-type: none"> ・配達人とのやり取りができる ・荷物の送り主の名前を確認できる
(46) ● インターネットを利用する		
4601	インターネットプロバイダーと契約する	
4601010	☆ インターネットのサービス内容・利用方法を理解する	
4602	ネット検索する	
4602040	★ インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット検索方法を人に聞くことができる ・インターネット検索方法の説明を理解することができる ・インターネットやパソコンに関連する基礎的な用語を理解している ・インターネットの検索方法について聞いたことをメモにまとめることができる ・検索したい事柄に応じて質問し理解することができる

4603	電子メールを利用する 4603090 ★ 電子メールを書く	<ul style="list-style-type: none"> ・メールの書き方について本から情報を得ることができる ・メールの書き方について人から情報を得ることができる ・メールを作成することができる ・メールを作成する際の基本的なマナーを知っている ・メールを作成する際の件名の付け方について知っている ・メールを作成する際の宛先, CC, BCCの使い分けについて知っている ・メールで伝えたほうがよいこととメール以外の手段で伝えたほうがよいことについて知っている ・PCの日本語入力の方法について知っている ・携帯の日本語入力の方法について知っている
(47) ● 電話・ファクシミリを利用する		
4701	電話・ファクシミリを発信する 4701100 ★ 電話を掛ける	<ul style="list-style-type: none"> ・相手呼び出してもらうことができる ・言語のみで説明することができる ・相手が不在の時の対応の仕方を知っている ・相手が不在の時に伝言を頼むことができる ・相手が不在の時に再度電話をかけることを伝えることができる ・留守番電話に適切に用件を吹き込むことができる ・留守番電話の吹き込み方についての案内指示を理解することができる
4702	電話・ファクシミリを受信する 4702070 ★ 応答する	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な電話の受け答えができる ・ファクシミリの内容が理解できる ・電話の取次ぎ, 伝言の受け方に関する表現を知っている ・相手の話を理解することができる ・電話の内容がよく分からないときに確認や質問ができる ・電話の内容について適切なメモを残すことができる ・電話の内容について必要なことを伝言することができる